



諦めない起業人生は“妄想”から

出前館創業者 花蜜幸伸特別講演会

前号で紹介した「出前館創業者 花蜜幸伸特別講演会」が7月6日に開催されました。

講演では、花蜜さんの青春時代から起業に至った経緯、そして「出前館」の創業。さらにはその後の絶頂から転落、逮捕、絶望からの復活が赤裸々に語られました。

講演を通して語られたこと。それは、諦めないことの大切さであり、そのために必要なものは何かということでした。

花蜜さんは、それを“妄想”という言葉で何度となく表現していました。自分が創業したまさに愛する我が子のような会社を守るために行った株取引を金融取引法違反相場操縦の罪として問われ、さらには億単位の借金まで抱えてしまった絶望の真ただ中でさえ、妄想をすることを忘れることはなかったといいます。



そして、花蜜さんの妄想を支え、実現への原動力になっているのが彼の発信力でした。この発信力が妄想を肉付けし、さらには多くの応援者を生み出す。もちろん、この人たちが絶望の中での光明になったことはいまでもありません。

花蜜さんは、現在、ペットの保護事業「ペットの里」と世界平和を事業化する「ピース乾杯プロジェクト」という二つの“新たな妄想”に取り組んでいます。どちらも一見お金儲けとは縁遠いものですが、それらをビジネス視点で行うところが、根っからの実業家。花蜜さんらしさなのでしょう。

花蜜さんはこの妄想実現に向けて、著書『僕は夢のような街をみんなで創ると決め、世界初の出前サイト「出前館」を起業した』を発売しました。そして、その出版記念講演会が8月6日に新宿文化センターで行われます。まずはこの講演会に参加して、花蜜さんの妄想に加担してみるのも悪くないのでは。



この日から世界は変わる！
再生と希望の物語「世界平和編」開幕！

8月6日(土)
19:30~21:00
新宿文化センター 大ホール

出前館創業者
花蜜幸伸
出版記念講演会



経済界倶楽部例会報告

経済界倶楽部の東京7月例会（256回）が7月27日にありました。

講師は近畿大学経営戦略本部長の世耕石弘さん。テーマは「知と汗と涙の近代流コミュニケーション戦略でした。」

今後の大学経営は、少子化が進む上にDX化への対応などますます厳しくなることが予想されています。各大学の生き残りをかけた学生獲得競争が激化している中、近大は私大志願者数9年連続日本一を達成、世界の

大学ランキングでも早慶に肩を並べるなど大躍進をしています。

もちろん、近大には世界初となるクロマグロの完全養殖成功を象徴とした優れた研究成果や紙の願書廃止など学生にアピールできる話題には事足りません。しかし、どんなに大学にとって有利な情報があっても、それをいかに効果的に発信できるか。それによって、社会からの評価は雲泥の差が生じます。

それを実践したのが近大です。現在の近大躍進の陰には既成概念にとられない攻めの情報発信。近大流のコミュニケーション戦略がありました。

それは動画をメインとしたサイトのトップページにも如実に表現されています。ヒップホップの軽快な音楽に合わせて、韻を踏みながら紹介される近大生のイメージ。これまでの学校紹介の常識をぶち壊す内容に最初、頭を抱えた人もいたのではないのでしょうか。

この既成概念にとられない精神は、近大創立時に遡ります。近大の建学の精神「実学教育と人格の陶冶」。当時、実学は専門学校がすることで大学がすることではないといわれていたそうです。そして、研究を儲けと結びつけることは学問への冒涇であるとさえいわれていました。しか

しながら、創設者である世耕弘一先生は、「官学はそれでもいいが、私学はそれでは存在していけない」と早くから研究成果をお金に変える実学という考えのもとで人間教育を行ってききました。

“研究成果の儲けを次の研究成果へ”これが近大のハマチや真鯛の養殖ビジネスであり、それらが世界初のクロマグロの完全養殖につながっていったことはいまでもありません。

既成概念にとられないことで批判されることもあります。しかし、それを受け入れる強さとしなやかさ。それがこれから必要な人材育成の在り方なのかもしれません。

編集後記

7月25日に57歳になりました。多くの方々から温かいバースデーメッセージをいただき、おかげさまで喜びと感謝にあふれる幸せな一日を過ごすことができました。

こうした幸せを感じられるのも両親のおかげです。特に母には感謝しかありません。私が生まれたのがお昼過ぎ、その日も暑かったそうです。前日からの陣痛と暑さの中で、母は私を生んでくれました。

昨年、コロナ罹患後に倒れました。最近の研究発表見てわかったのですが、この時に命を失っていたかもしれません。いまあらためて命の大切さを感じています。 加藤佳悟

FKP
INFO

FKP.Booklet “あったか社長” 國武栄治の「伝説塾」月刊BOSS編上巻

ファイブ・ケイ・プロの小冊子「F.K.P.Booklet」。

そのプロトタイプ版『“あったか社長” 國武栄治の「伝説塾」月刊BOSS編上巻』が完成、國武栄治会長の誕生プレゼントとして寄贈しました。

今回の小冊子は、月刊BOSSでの連載を加筆修正したもので、國武会長の実践に基づく成功するための経営哲学が濃厚に詰まっています。

小冊子の良さは、短時間で読めてそれでいてその人となりがいっしょに伝わることにあります。



それだけに名刺代わり、セミナーの資料や営業ツールなど活用法もいろいろ考えられます。

実際に小冊子を活用して売上アップし続けている企業もあります。本を出すにはハードルが高いが、お客様に届く発信をしたいという経営者にはおすすめ。ご依頼はファイブ・ケイ・プロまで。

